

18. 広域普及指導員とは？酪農普及事業における役割と今後の展開について

地域農業振興課 広域普及指導班

○森本慎思

はじめに

県の機構改革が H17~18 年度にかけて行われ、普及指導員にスペシャリスト機能を持たせる目的で酪農、肉用牛繁殖、肉用牛肥育など一人に一専門分野を持たせることとなった。また、それまでであった専技制度から広域普及指導員というものも配置され、広域普及指導員もスペシャリスト機能を持たせるよう専門分野を特化した。

このような背景がある中で、酪農普及事業における広域普及指導員の役割と今後の展開について、下記項目について事例を交えつつ報告する。

(1) 畜産における普及事業の役割とは？

民間企業を含む様々な関係機関が関わる酪農産業において、公的機関が行う普及事業の特徴とその役割や必要性について報告。

(2) 振興局普及指導員と広域普及指導員の役割

普及事業における地域の普及指導員と大分県全体を網羅する広域普及指導員の役割分担などについて紹介。

(3) 広域普及指導員としての活動事例紹介

① 県酪農協および県庁組織内における振興策の提言

大分県全体の酪農振興について、関係機関とのコーディネートや課題解決案の取りまとめ、提言を行った。

② 普及指導員の現場における OJT とフォローアップ

下郷農協管内の農場を対象として地域の普及指導員と広域普及指導員が連携して個体乳量アップ、出荷乳量アップを推進した。

③ 育成預託牧場の改善について

県酪農協が主導して行っている育成預託牧場において、関係者のコーディネートを行いつつ繁殖成績の向上を図った。

④ 堆肥処理コントラクターについて（人の繋がりコーディネート）

頭脳労働時間の確保による生産性向上について、作業の外部化推進を行った。

(4) 今後の酪農普及事業の展開について

県としても生乳生産量アップを目標に振興計画が立てられ、今後農場の大規模化がさらに進んで行くことが予測される。そのような中で個々の酪農場が現在どのような課題を抱えており、普及事業としての解決方法について検討した。